

カシオ、山形県東根市に時計専用工場竣工

Edited By LogisticsToday On 2018/04/25



カシオ計算機の国内生産拠点である山形カシオ（山形県東根市）の時計専用工場が、24日竣工した。5月から量産を開始する。

新工場は、主力品目である時計の生産効率を高めるため、従来別々の建屋で行っていた部品と完成品の製造を集約する工場として昨年7月に着工した。

今回の時計専用工場では、マニファクチャールとしての高度な技術力を駆使して、高い組立精度と品質を実現する腕時計を、歯車などの基幹部品から一貫して生産する。針を駆動するための微小なローターや歯車をミクロン単位の精度で製造するほか、それらを組み込んだアナログ時計のムーブメントを生産。山形で完成品として組み立てる分だけでなく、中国やタイの自社工場へも供給する。

また、完成品としては、機械を使った高精度のテクノロジーと限られた技能認定者による高い技術を融合させた組立ライン「Premium Production Line」（プレミアムプロダクションライン）で、耐衝撃腕時計「G-SHOCK」の高価格帯モデルや高機能アナログウォッチ「OCEANUS」などを生産する。

■新工場の概要

建物概要：鉄骨造平屋建て（一部2階）

延床面積：4000平方メートル

生産能力：月産1万6000個（稼動時設備による時計完成品の最大生産能力）

投資額：20億円

稼動予定：2018年5月

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト：<http://www.logi-today.com>

URL to article：<http://www.logi-today.com/315232>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.